

No. 331
AUTUMN 2020

YASKAWA NEWSは
お客様と安川電機を結ぶPR情報誌です。

特集1
p2

どんなところで人協働？

人協働ロボットMOTOMAN-HCシリーズ

特集2
p6

「第4回 スマート工場EXPO」 出展報告



p8 新製品

MOTOMAN-GP300Rを発売
SEMISTAR-GEKKO MD124Dを発売
XG11500 150kWを発売

p11 トピックス

AIを活用した下水処理における運転支援システム
アイキューブデジタルを設立
「Derwent Top100 グローバル・イノベーター」を受賞
「未来ロボティクスエンジニア育成協議会」へ参画
「実業団 of The Year」でFinalistアスリート賞を受賞

p14 展示会

「第23回[関西]機械要素技術展」出展案内

p15 コラム

陸上部NEWS

どんなところで人協働？ 人協働ロボットMOTOMAN-HCシリーズ



人と一緒に作業できるロボットとして少しずつ広まり始めている人協働ロボット。それでも、どんな作業で使えるのかよく分からないという声はまだあります。機種ラインアップが強化された人協働ロボットHCシリーズがどのようなところで活躍できるのかをご紹介します！

人協働ロボットの
特長
(安全柵レス)

- 安全柵は不要*1です。人のそばに設置できます。
- 設置も移設も簡単です。
- 人と同じくらいのスペースに設置できます。



※1：HCシリーズは、安全機能により安全柵なしでのシステム構築が可能ですが、全てのケースにおいてリスクアセスメントが必要です。

MOTOMAN-HC10DT

10kg可搬

MOTOMAN-HC10DT(防じん・防滴仕様)
MOTOMAN-HC20DT(防じん・防滴仕様)



可搬質量 20kg*2
HC20DTのみ
より質量のあるワークや
ツールを扱うことが可能です。

10kg可搬



20kg可搬

MOTOMAN-HC10DTF

10kg可搬



食品環境向け
特殊表面処理
塗装片の混入を防止し、
洗浄液*3による清掃が
可能です。



MOTOMAN-HC10DT
ハンドキャリータイプ

10kg可搬



台車搭載
必要な時に手で押して
移設が可能です。



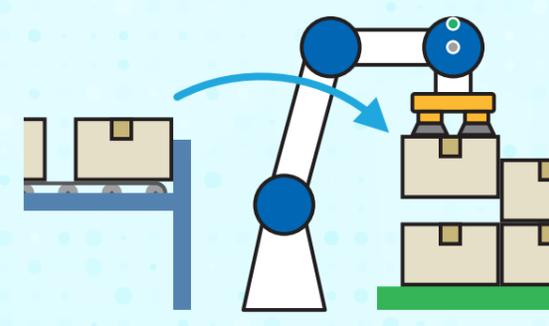
※2：エンドエフェクタ(ハンドツールなど)を含めた質量。

※3：使用できる洗浄液の詳細は製品仕様書を参照してください。

人協働ロボットMOTOMAN-HCシリーズ



ハンドリング、パレタイジング



- 箱や品物運ぶ・積むを繰り返す作業は、**単調なうえに**身体への負担も大きくなりがちです。
- 積む場合は、きれいに積み上げないと**荷崩れが発生**することもあり危険です。



人協働ロボット導入後

- 繰返し作業が得意なロボットで作業を自動化します。人は重労働からより適した作業に移ることができます。
- 正確な動きができるロボットにより積み方のばらつきが抑えられ、荷崩れを防止することができます。
- 人協働ロボットであれば、人が作業をしていたスペースに設置することができます。安全柵やレイアウト変更が不要になり、設置にかかるコストを抑えることができます。

運ぶ物の種類や設置する環境に合わせた人協働ロボットを取りそろえています。



●大きいサイズ
●重いもの

MOTOMAN-HC20DT
(防じん・防滴仕様)



●清潔さが必要
●食品・医薬品

MOTOMAN-HC10DTF

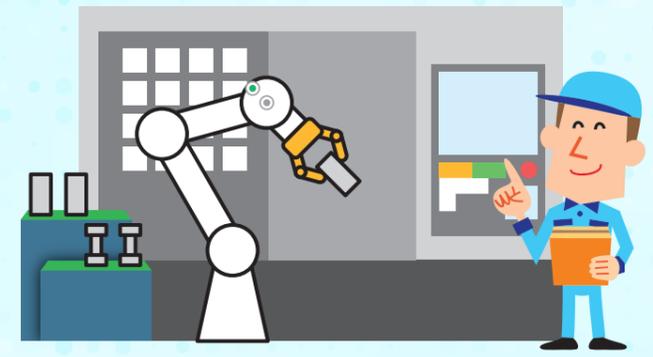


●状況によって
場所を変更

MOTOMAN-HC10DT
ハンドキャリータイプ



メンテナンス (加工機へのワーク供給・搬出)



防じん・防滴仕様の人協働ロボットが活躍します。



MOTOMAN-HC20DT
(防じん・防滴仕様)

- 冷却液がはねて汚れやすい環境での単純な繰返し作業のため、人が行う作業にはあまり向いていません。
- ワークを取り替える時に加工機の内部に手を入れるため、加工機内の切削工具や金属の切りくずでけがをする可能性があり危険です。

人協働ロボット導入後

- 防じん・防滴仕様の人協働ロボットを使用することで、元の作業スペースを大きく変えることなく**単調で汚れやすい作業を自動化**します。
- 危険が潜む作業を人に替わって行うため、けがの発生を抑えることができます。

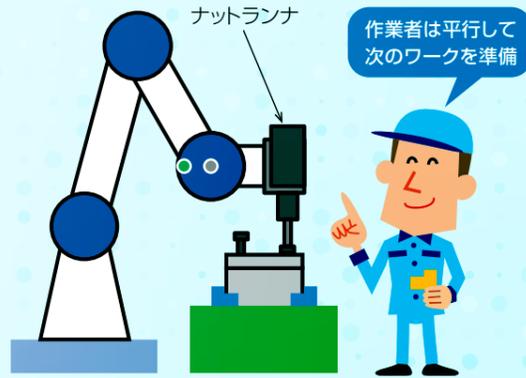


●保護等級：IP67
●洗浄可能

MOTOMAN-HC10DT
(防じん・防滴仕様)



ボルト・ねじ締め



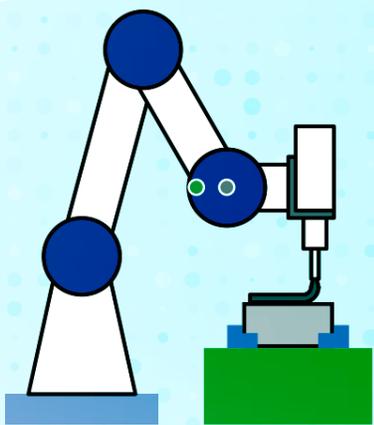
- 人が作業を行っている時、ボルト・ねじの締め忘れや締め付け不良、締め付けトルクのばらつきなど、製品の品質に影響する作業ミスが起こることがあります。

人協働ロボット導入後

- 元の作業スペースを大きく変えることなく単調なボルト・ねじ締め作業を自動化します。
- ロボットが同じ動作を忘れることなく行うため、締め忘れがなくなります。
- ナットランナと組み合わせることで、締め付け不良や締め付けトルクのばらつきを防ぎます。



シーリング



- 作業員や作業ごとに塗布量や塗布軌跡がばらつき、製品品質が安定しないことがあります。

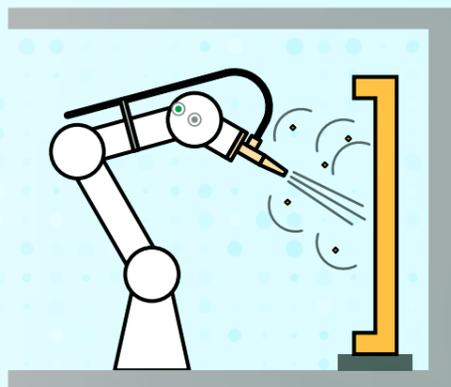


人協働ロボット導入後

- 元の作業スペースを大きく変えることなく正確な動きが必要なシーリング作業を自動化します。
- 同じ動きを繰り返し正確に行えるため、塗布量や塗布軌跡のばらつきを抑えることができます。



エアブロー (ちり・ほこりの除去)



- ちりやほこりが舞う環境の中での作業でちりやほこりが目に入る可能性もあり、人が行う作業にはあまり向いていません。
- 作業員や作業ごとにエアブローの軌跡や吹付け時間がばらつき、ちりやほこりが除去できていないことがあります。

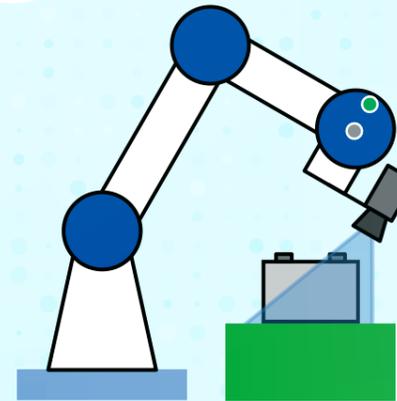


人協働ロボット導入後

- 防じん・防滴仕様の人協働ロボットを使用することで、元の作業スペースを大きく変えることなくちりやほこりが舞う環境のエアブロー作業を自動化します。
- 同じ動きを繰り返し正確に行えるため、エアブローのばらつきを抑えることができます。



検査 (目視検査)



- 長時間作業をしていると集中力が続かずに確認漏れが発生し、不良品がそのまま後工程に流れてしまうことがあります。
- 作業員によって良品/不良品の判定がばらつくことがあり、不良品が誤って良品と判定されることがあります。

人協働ロボット導入後

- 人協働ロボットを導入することで、元の作業スペースを大きく変えずに確認項目の漏れなく検査作業を自動化します。
 - 判定基準をデータで明確にしているため、作業員によって判定がばらつくといったことがなく誤判定がなくなります*。
- ※ 不良として想定され、判定基準が明確になっている不良に限り。想定外の不良で判定基準が明確になっていない不良は一度流出する可能性がありますが、判定基準を明確にして対策をすることで以後の流出は防ぐことができます。

人協働ロボットを使ってみてみたい方にご紹介

ロボットの操作がより簡単にできる教示デバイス スマートペンダント



人協働ロボット
HCシリーズに対応

■大画面タッチスクリーン

情報が見やすく操作しやすい10.1インチのタッチスクリーンを採用しています。

■スマートモード

スマートペンダントを持つ人の向きとロボットの動作方向が同じになり、直感的に操作できるようになるスマートモードを搭載しています。

■ヘルプ表示機能

表示されている内容を解説するヘルプアイコンを画面の随所に配置しています。

ロボットのデータを活用 YASKAWA Cockpit



ロボットのデータを収集・管理するプラットフォーム「YASKAWA Cockpit」を用いて、改善や予防保全に活用できる様々なデータを閲覧することができます。

■閲覧できるデータの例

- ロボットの稼働状況
- 異常停止時の各種データ
- 人協働ロボットに加わった外力



人協働ロボットコースを新設 ロボットスクール

人協働ロボットを安心してお使いいただくため、全国4箇所に設置されたロボットスクールにて、新たに人協働ロボットコースを開設しています。



スクールの詳細はホームページをご参照ください。▶ <http://yaskawa-meg.co.jp>

展示会出展レポート

第4回 スマート工場 EXPO

IoT/AI/FAによる 製造革新展

第4回 スマート工場EXPO

2020年2月12日(水)~14日(金)

会場/東京ビッグサイト 西展示棟

主催/リード エグジビション ジャパン(株)

ホームページ/ <https://www.sma-fac.jp>

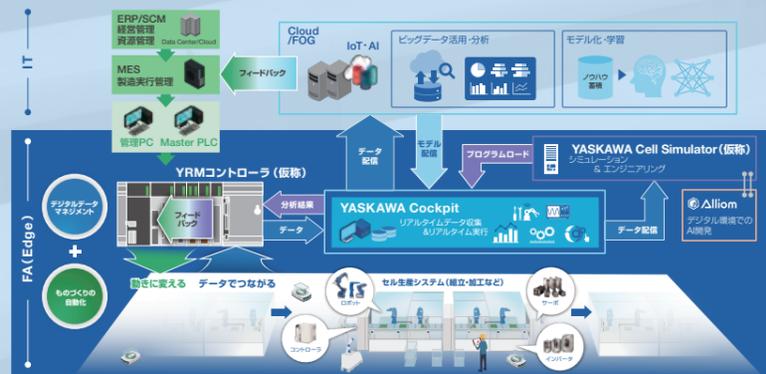
同時開催/第4回ロボデックス、第6回ウェアラブルEXPO

2020年2月12日(水)~14日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催された「第4回スマート工場EXPO」に出展しました。当社ブースの展示の柱は、「i³-Mechatronics (アイキューブ メカトロニクス)」コンセプトを具現化した、「デジタルデータを活用した未来の生産現場」と「パートナーとの共

創によるソリューション」です。昨年に引き続きYE DIGITALと共同出展したほか、エイアイキューブ、日本IBM様、ケーデーイー様にも出展いただき、当社とパートナー企業様の技術・ソリューションを生かしたデモやミニセミナーを行いました。



ブース正面



YRMコントローラ(仮称)が加わった「i³-Mechatronicsが実現された工場」の概念図



当社の製品・技術情報サイト(e-メカサイト)では今回展示したデモ機の動画を公開しております。ぜひご覧ください。

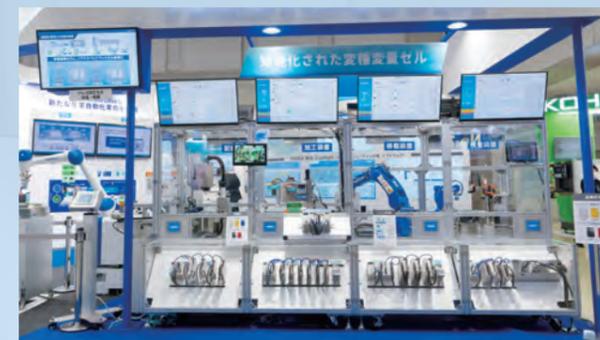
<http://www.e-mechatronics.com/vsr/exh19/sfe2020.html>

知能化された変種変量セル — 特注生産にも生産を止めずにフレキシブル対応 —

メインデモ機では、プレス成形したワークに穴あけ、バリ取りなどの加工を行うセル工程を再現しました。配膳、加工、移載、検査の一連の装置間制御をYRMコントローラ(仮称)が行い、検査工程のデータから傾向を分析、リアルタイムに加工工程のモーション制御へフィードバックを実施し、生産や品質を安定させています。

生産計画はMESと接続し、BTOによる特注生産にも生産を止めずフレキシブルに対応しています。会場では、タブレットで特注品を発注するデモンストレーションも行いました。特注品のオーダーが入ると、最適なタイミングでMESの生産スケジュール画面に特注品の生産を割り込ませ、それを受けて、ロボットが特注品生産用の部品を配膳。通常品の生産に影響を与えずに、臨機応変に、特注生産への切替えが行われる様子を体感いただきました。

また、加工の工程でプレス成形の成形品質の傾向を見ながら、プレス成形の圧力指令値が最適化していく様子などは当社のソフトウェアYASKAWA Cockpit(YCP)の画面で確認でき、多くの来場者の関心を集めました。YCPはメインデモ機だけではなく、ブース内のデモ機の稼働状況をリアルタイムで表示しました。



プレス加工を行うセルを再現したメインデモ機



ブース内のデモ機の稼働状況をリアルタイムで視える化



特注品の発注を行うタブレット

コンディションベースドメンテナンス(コンベヤ、ファン)

インバータ本体だけでなく、機械・設備の異常をセンサーなしで検知し、結果をお知らせする安川インバータをご紹介しました。コンベヤを使ったデモ機では、運用中の設備劣化監視をインバータが行い、メンテナンスを適切にサポートをします。ファンのフィルタ目詰まりを再現したデモ機では、目詰まり状態でも風量を一定に保ちつつ、フィルタ清掃時期をお知らせするインバータの機能を訴求しました。



生産現場のデジタル化を支える製品・技術

8軸の機構でシャープペンシルの芯を回すデモ機。MECHATROLINK対応製品は、制御に合わせて、多くのデータを高速で収集しています。デモ機の見どころである高速・高精度な同期制御と合わせて、ご説明いたしました。



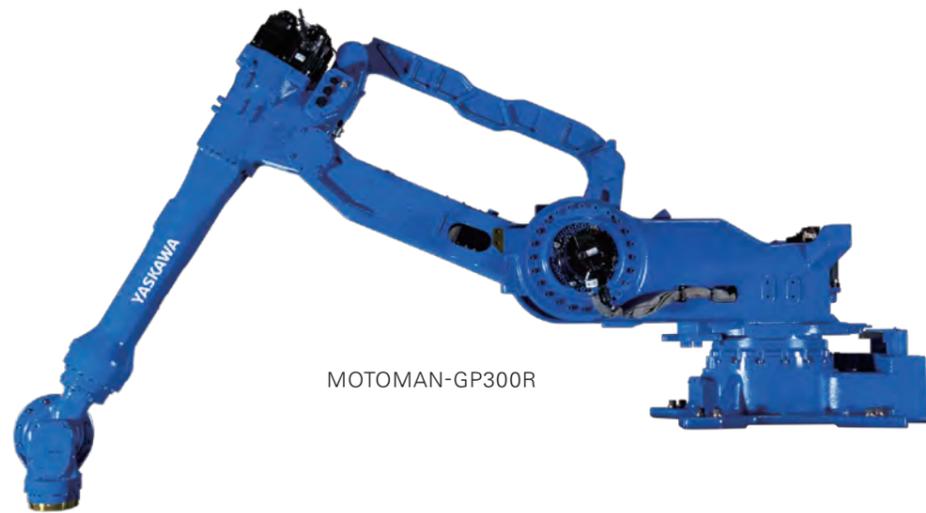
棚置き型ロボットのラインアップ強化により設備の省スペース化に貢献 MOTOMAN-GP300Rを発売

近年、電気自動車(EV)、ハイブリッド電気自動車(HEV)、燃料電池車(FCV)など環境に優しいエコカーの開発が世界規模で進められており、それに伴い自動車製造ラインの構成も大きく変化しつつあります。特に、自動車のボディー製造工程では、低燃費性能の向上や走行距離の伸長の実現に向けた車体軽量化のために、アルミニウムやハイテン(高張力鋼板)など従来の鋼材とは異なる新しい素材が採用され始めています。また、衝突安全性能の向上を目的とした自動車ボディーの構造変革も合わせて進められており、そうした自動車ボディーの組立工程では、従来にも増してライン長の短縮による省スペース化や工程統合

による高付加価値ラインの構築が求められています。

このようなニーズに応えるため、当社は多用途適用型ロボットの新たなラインアップとして、棚置き型のMOTOMAN-GP300R(可搬質量300kg 最大リーチ3220mm)を開発しました。このラインアップ強化により、お客様におかれる高付加価値を追求した次世代の生産ライン構築に貢献します。

また、世界各地で異なる電圧や安全規格にも対応できるロボットコントローラYRC1000との組み合わせで、ロボットのパフォーマンスを最大限に引き出します。



MOTOMAN-GP300R

棚置き型によるスペースの有効活用

可搬質量300kg、最大リーチ3220mmの棚置き型ロボットです。設置面に対して下方に広い動作領域を有しており、対象ワークに対して上方からハンドリングするような工程に最適です。また、床面のロボット設置スペースが不要なため、床置き型のロボットと組み合わせた高密度なロボットレイアウトが可能となり、コンパクトで生産性の高い製造ライン構築に貢献します。

主な用途 | 自動車ボディー部品搬送、マシン間搬送、ジグ搬送など

手首軸の耐荷重強化による適用領域拡大

手首軸の許容モーメントおよび許容慣性モーメント(イナーシャ)をクラス最高水準に強化しています。自動車ボディー組立工程での部品ハンドリング用ジグの大型化への対応や把持部分から重心までの距離が長いワークの搬送工程などへの適用が可能となり、より多彩な生産設備構築に貢献します。

軽量化による設備コストの軽減

平行リンク構造の採用により、従来同等機種に比べロボット本体を軽量化しています。

棚置き型ロボット設置に伴う設備構築の簡素化やロボット更新案件での既存設備活用なども可能となり、設備コストの軽減に貢献します。

● お問い合わせ先：ロボット事業部 事業企画部 営業推進課 TEL: 093-645-7703 FAX: 093-645-7802

高精度・低振動な半導体ウエハ搬送用クリーンロボット SEMISTAR-GEKKO MD124Dを発売

近年のスマートフォンの製品仕様の進化、IoTの発展に伴うデータセンターの高度化や通信仕様の5G化など技術進化は目覚ましく、これらの技術を支える大きな要素が半導体です。半導体の技術革新は、製造プロセスにおけるnm(ナノメートル)レベルの微細化技術や多層化技術により成り立っており、この進化に貢献するウエハ搬送用のクリーンロボットが求められています。例えば、指定する位置に高精度でウエハを運びたい、ウエハにストレスをかけずに今までと同じ搬送枚数を安全に搬送したい、多数のウエハを収納するために狭いピッチの場所にもウエハを搬送したい、などの要望があります。

こういったお客様からのご要望に応えるために、当社は半導体ウエハ搬送用クリーンロボットの新たなラインアップとして、当社

のACサーボモータ「Σ-7シリーズ」のダイレクトドライブモータを採用したクリーンロボット「SEMISTAR-GEKKO MD124D」を開発し発売いたしました。

ダイレクトドライブ駆動方式を採用するにより、従来機種より高精度(位置決め精度 従来比2倍)・低振動(従来機種比1/6)を実現し、半導体ウエハの生産性向上や低ダメージ搬送に貢献します。

併せて、小型・軽量化し駆動能力や拡張性を高めたクリーンロボット用標準コントローラSR200も開発しました。SR200は当社クリーンロボット全般に適用し、クリーンロボットのパフォーマンスを最大限に引き出します。

半導体ウエハ搬送用クリーンロボット
SEMISTAR-GEKKO MD124D

主な用途 | 半導体製造装置内でのウエハなどの搬送

クリーンロボット用標準コントローラ
SR200

ダイレクトドライブ駆動方式を採用した 高精度・低振動ロボット

従来機種(SEMISTAR-MR124)と比較して、ロボットの取付け・搬送装置レイアウトの完全互換性を実現(ロボット本体の形状を維持)、絶対位置精度(0.05mm^{*})や繰返し位置決め精度(±0.025mm^{*})は2倍に向上し、搬送時のハンド振動(0.25G^{*}、1G=9.8m/s²)も大幅に低減しています。この性能を実現するために、ロボットのアームに減速機を必要としない当社のACサーボモータ「Σ-7シリーズ」のダイレクトドライブモータを搭載した駆動方式としています。

*当社測定条件による結果の一例

駆動能力や拡張性を高めた ロボットコントローラ

当社のモーションコントロール製品を活用し、従来機種比体積42%、質量35%減ながらSEMI規格など主要規格に適合した拡張性を持たせたコントローラです。

アフターサービスの品質を改善

ロボットからバッテリーを排除し、バッテリー交換をなくしました。また、お客様が必要な情報を取得しやすいような工夫を施し、プロセスの分析や生産性の改善につなげることができます。ロボットとコントローラともに調達部品を見直すことで生産継続などサステナビリティを意識した製品です。

● お問い合わせ先：ロボット事業部 クリーンロボット技術部 TEL: 093-645-7117 FAX: 093-645-7736

産業用高圧・発電事業者用特別高圧案件向け太陽光発電用パワーコンディショナ XGI1500 150kWを発売

当社は産業用高圧および発電事業者用特別高圧案件向けの分散型太陽光発電用パワーコンディショナ XGI1500 150kWを、2020年1月に米国市場に投入したの続き、6月15日から日本市場において販売開始しました。

2020年1月、日本政府は脱炭素社会の実現に向けた「革新的環境イノベーション戦略」を策定しました。その中で重要開発テーマ5分野の最初の柱として「エネルギー転換」分野が掲げられており、「新たな素材や構造による太陽光発電の飛躍的な効率向上と低コスト化による、再生可能エネルギーの主力電源

化を図る」ことが明記されています。容量50kW未満の小規模太陽光発電設備市場が成熟期を迎えた今、パワーコンディショナは太陽光発電システムのキーコンポーネントとして、産業用高圧および発電事業者用特別高圧セグメントにおけるシステムコストの低減に寄与することが求められています。そのような中、2018年にリリースしたXGI1000 65kWに続き、産業用高圧と発電事業者用特別高圧の二つの領域で適用できる高電圧かつ高出力(1500V 150kW)のモデルを開発しました。



XGI1500 150kW

太陽光発電システムの トータルコスト低減

①高電圧化でシステム費用を低減

直流入力電圧を1500Vまで高電圧化することで、損失を低減するとともに、パワーコンディショナの台数や交流集電箱、配線などの周辺部材費用の低減が可能です。

②施工費の低減

据付け、工事、パラメータ設定までを含めた関連施工費を低減します。

③運転・保守の費用低減

LCDレス、電解コンデンサレス、ヒューズレス設計を採用することで部品数の削減、そして保守を行う際の費用低減に貢献します。また、Wi-Fiを内蔵し、スマートデバイス(アプリ不要)からパワーコンディショナとの通信、一括設定、簡易モニタリングが手元で可能となり、初期設定や試運転調整、運転および保守の効率化に貢献します。更に、ねじ端子台採用により、テスター等の操作性も優れています。

適合規格 適合規格：系統連系規程(JEAC9701-2019)

主な用途 連系用太陽光発電システム(産業用高圧および発電事業者用特別高圧案件向け)での分散型設置

広範、良質なサービスネットワーク

YASKAWAコンタクトセンタでの24時間受付、日本全域サービスネットワークでお客をサポートします。万一の故障に対しては迅速に現地に駆けつけ原因究明と発電所の早期復旧にあたります。

安心保証

長寿命化を考えた設計により、製品は標準で5年間の無償保証が付帯しています。

● お問い合わせ先：環境・社会システム事業部 環境エネルギー部 営業推進課 TEL: 0930-23-5079 FAX: 0930-23-5249

実機上での検証を完了、有効性を確認 AIを活用した下水処理における運転支援システム

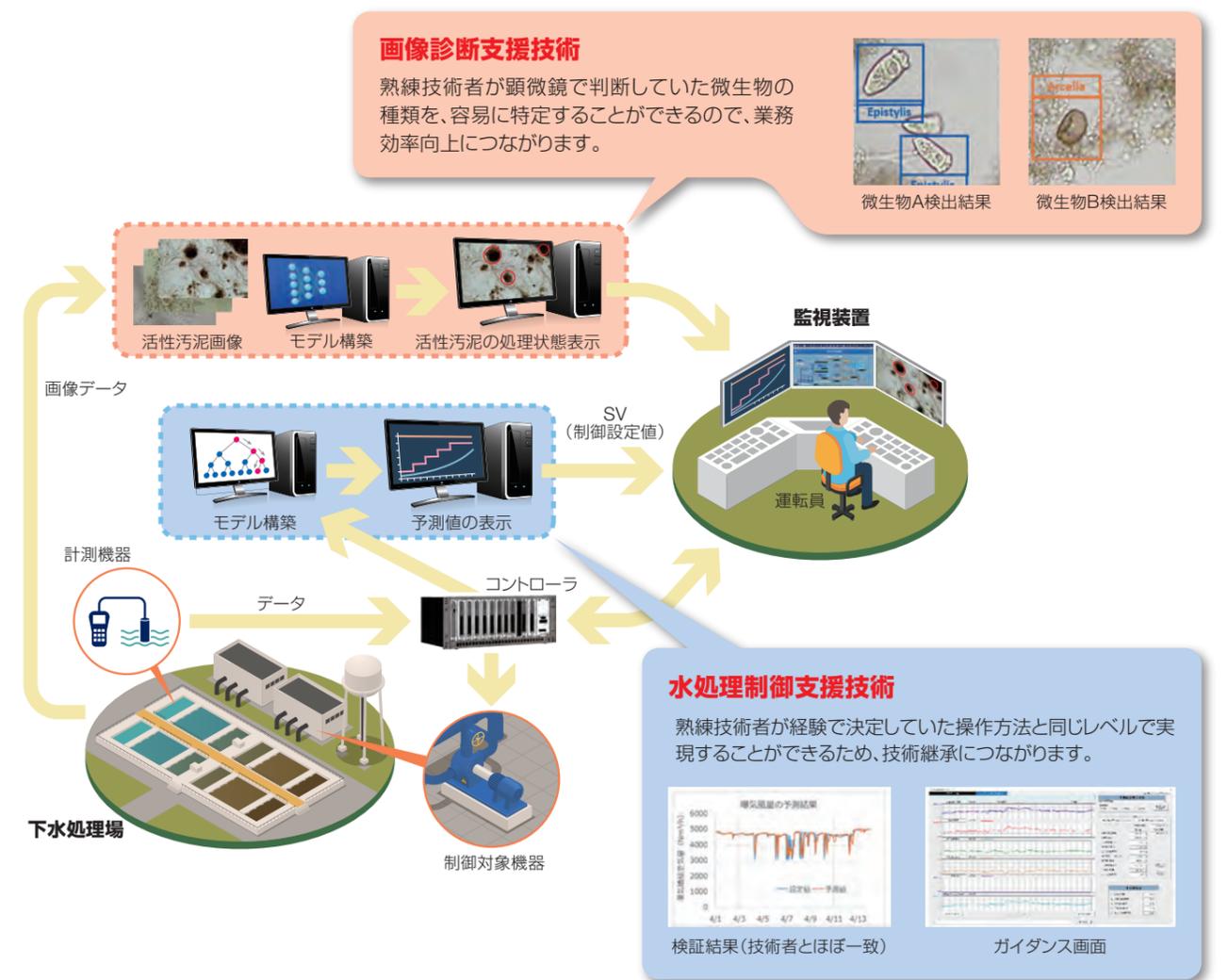
当社は長期経営計画「2025年ビジョン」の実現に向け、新たな領域におけるビジネスに取り組むため、IoT/AIの開発を行っています。

環境・社会システム事業部では、IoT/AIを導入する領域の一つとして、熟練技術者減少に伴う技術継承、効率的運転のニーズがあり、AI解析に必要な数年間のデータが蓄積されている水処理施設での取組みを強化しています。

ここ数年の活動として、外部機関と共同で、AIを活用した運転支援システムについて、実下水処理施設を対象に検証しました。具体的には、当社が長年培ってきたプロセス制御技術、監視技術

をベースとして、AIによるデータ解析技術を盛り込んだシステムを構築しました。この技術は、プラントから得られるデータを使用して学習を継続することで熟練技術者のノウハウを習得し、常に精度を向上させていきます。また、大雨などのイレギュラーな場面においても、雨天日のデータを学習することで一定の精度を確保することができます。その結果、熟練技術者の代替や運転管理の効率化・省力化への対応を進めることができます。

今後はパイロットプラントでの検証にて、AI制御技術の実用化に向けて取り組んでいきます。



これまでの取組み

国土交通省が2018および2019年度に実施した下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト^{*1})のFS調査^{*2}において、当社、前澤工業(株)、日本下水道事業団の三者で構成される共同研究体は、国土技術政策総合研究所の委託研究「AIを活用した下水処理運転管理支援技術に関する研究」にて検証を行いました。

^{*1}: B-DASH(Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project)とは、新技術の研究開発および実用化を加速することにより、下水道事業におけるコスト削減や再生可能エネルギー創出等を実現するため、国土交通省が実施しているプロジェクト。
^{*2}: 下水道革新的技術実証事業の前段階として、導入効果などを含めた普及可能性の検討や技術性能の確認等を行うこと。

● お問い合わせ先：環境・社会システム事業部 社会システム営業部 新規市場開拓課 TEL: 03-5402-4532 FAX: 03-5402-4589

製造業向けIoTソリューションの合併会社 アイキューブデジタルを設立

安川電機と株式会社YE DIGITALは、製造業における工場や物流等の自動化に関するIoTソリューション事業において、合併会社「株式会社アイキューブデジタル」を設立することで2020年4月10日に合意しました。

当社は、強みを持つメカトロニクス技術によるソリューションに「デジタルデータのマネジメント」を加えることで、生産性の向上など、お客様の経営課題の解決を実現するソリューションコンセプト「i³-Mechatronics(アイキューブメカトロニクス)」を推進しています。

また、YE DIGITALは社会インフラや文教市場等の非製造業向けのIoT技術で競争力を持ち、この技術を活用しながら製造業におけるネットワークからクラウドまでの幅広いサービスを展開し、事業拡大を進めてきました。

そのような中、当社のACサーボ、インバータ、ロボットといった競争力のあるメカトロニクス技術・製品とこの合併会社に移管され

るYE DIGITALのIoT技術を融合することで、「i³-Mechatronics」を軸とした製造業向けのIoTソリューションの強化を図り、中期経営計画「Challenge 25」で掲げる「i³-Mechatronics」のビジネスモデルの変革を更に加速させます。

設立する合併会社を通じて、お客様の幅広いニーズに答えながら事業の拡大を実現していきます。

設立会社の概要

| | |
|------|-------------------------------------|
| 会社名 | 株式会社アイキューブデジタル |
| 所在地 | 福岡県北九州市 |
| 設立 | 2020年7月1日 |
| 事業内容 | 製造業向け工場および物流業向け自動化に関するIoTソリューションを展開 |

● お問い合わせ先：広報・IR部 TEL: 03-5402-4564 FAX: 03-5402-4408

世界で最も革新的な企業・研究機関100社として選出 「Derwent Top 100 グローバル・イノベーター」を受賞

クラリベイト・アナリティクス(本社:米国フィラデルフィア)が選考する「Derwent Top100グローバル・イノベーター2020」に選出されました。当社が選出されるのは2015年度から5年連続となります。

本アワードは、世界的な情報サービス企業であるクラリベイト・アナリティクスが保有する特許データを基に、同社が独自に知財・特許動向を分析し、世界で最も革新的な企業・機関100社を選出するものです。本アワードの評価は、「特許数」、「成功率」、「グローバル性」、「引用における特許の影響力」の四つの基準が用いられています。当社はこれらの基準のうち、他社の発明の中で引用される特許数を示す「影響力」で特に高い評価をいただきました。

当社は、創業の精神である「技術立社」を受け継ぎ、世界一・世界初にこだわった研究開発を進めています。今後も、事業の持続的な発展を支える技術開発をグローバルに展開し、その技術を通じて社会に新たな価値を生み出すことで、持続的な企業価値向上を図ります。



クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社
代表取締役 櫻井諭様(左)よりトロフィーを授与される
安川電機 代表取締役社長 小笠原浩(右)

● お問い合わせ先：広報・IR部 TEL: 03-5402-4564 FAX: 03-5402-4408

将来のロボット関連人材の育成を推進 「未来ロボティクスエンジニア育成協議会」へ参画

当社は、経済産業省主導のもと将来のロボット関連人材の育成を推進するために組織化された「未来ロボティクスエンジニア育成協議会(英語名:The Consortium of Human Education for Future Robot System Integration、略称:CHERSI(チェルシー))」に参画いたします。

これは、産業界と高等専門学校や工業高校などの教育機関が相互に連携することで次世代のロボット関連人材の育成を図るものです。当社は高等専門学校や工業高校へ様々な支援を行い、高度化する産業用ロボット市場に向けたロボットの利活用人材の輩出に貢献してまいります。

なお、当社は2005年よりアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト(主催:全国高等専門学校連合会、NHK、NHKエンタープライズ)に協賛しています。

「未来ロボティクスエンジニア育成協議会」について

経産省の主導のもと教育機関と産学が相互に連携することで、将来のロボット関連人材の育成を推進するもので、2020年6月24日に設立されました。川崎重工業株式会社、株式会社デンソー、ファナック株式会社、株式会社不二越、三菱電機、平田機工株式会社に当社を含めたロボットメーカー7社とFA・ロボットシステムインテグレーション協会、独立行政法人国立高等専門学校機構が参画します。



● お問い合わせ先：広報・IR部 TEL: 03-5402-4564 FAX: 03-5402-4408

全日本実業団ハーフマラソン大会 男子の部2位(日本人トップ)を評価され 古賀淳紫選手が日本実業団陸上競技連合の 「実業団 of The Year」でFinalistアスリート 賞を受賞

日本実業団陸上競技連合が主催・共催する陸上競技大会において優秀な成績を収めた選手、チームおよび指導者と社会貢献を通じて陸上競技の普及促進等に取り組んだチームもしくは個人を表彰する「実業団 of The Year」の2019年度受賞者が4月14日に発表されました。当社陸上部の古賀淳紫選手が、今年2月に開催された全日本実業団ハーフマラソン大会 男子の部 2位入賞(日本人トップ)を評価され、「Finalist アスリート賞」を受賞しました。

<古賀選手コメント>

この度は「実業団 of The Year」のFinalist アスリート賞をいただけて大変光栄に思います。賞をいただけていなかったので、正直驚きのほうが大きいです。今回の受賞を自信にして、もっと安川電機の名前を広めていけるように練習していきます。また、今後も更に応援していただけるように努力、精進してまいります。



● お問い合わせ先：広報・IR部 TEL: 03-5402-4564 FAX: 03-5402-4408

機械要素、加工技術を集めた西日本最大の専門展 「第23回[関西]機械要素技術展」に出展します

10月7日(水)～9日(金)の3日間、インテックス大阪にて「第23回 関西ものづくりワールド」が開催されます。同展示会は西日本最大のものづくりの展示会です。当社は「関西ものづくりワールド」を構成する展示会の一つ、「第23回[関西]機械要素技術展」に、「データ活用による装置の付加価値向上につながるヒントがここにある!」をテーマに出展いたします。

装置メーカー様の課題である「予防保全」「生産性向上」「品質安定」を解決するため当社ブースでは、「デジタルデータを活用しi³-Mechatronicsを具現化したコンセプトデモ」や「モーションとセンサデータの同期が可能な製品群」を展示し、お客様の装置への付加価値向上へつなげるヒントをご提案いたします。

ぜひ安川電機ブースにお越しいただき、当社のソリューションの数々をご覧ください。

関西機械要素技術展 特設サイト公開中



会 期 2020年10月7日(水)～9日(金)
10:00～18:00(最終日は17:00まで)
会 場 インテックス大阪
安川電機ブース小間番号：4号館 18-23
主 催 者 リード エグジビジョン ジャパン株式会社
U R L <https://www.japan-mfg-kansai.jp>

※展示会が中止または延期になる場合があります。
主催者サイトにて最新の情報をご確認ください。

特別講演

10月8日(木)
15:30～16:15
受講無料

ロボットの進化と データドリブによる 自律分散型のモノづくりの実現

i³-Mechatronics 具現化加速に
向けた次なるアクション

取締役 常務執行役員 ロボット事業部長
小川 昌寛

当社はソリューションコンセプト“i³-Mechatronics”の実現に向け、様々な提案を進めています。本講演では“データドリブによる自律分散型のモノづくり”に向けた当社の取組みを中心に、生産現場で創出されるデータの活用によるソリューション技術の広がりや、デジタルツインの構造化による更なる進化について紹介いたします。

※主催者サイトからお申し込みください。

デジタルデータを活用し
i³-Mechatronicsを具体化した
コンセプトデモ



● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 事業企画部 事業企画課 TEL：04-2962-5470 FAX：04-2966-0746



2020年度 陸上部員紹介

陸上部のメンバー紹介や大会結果、スケジュールなど詳しい情報は陸上部公式サイトでご確認ください。
<https://sports.yaskawa.co.jp/track-field/>



2020年シーズンがスタートしました。

今年度は、2020年箱根駅伝を経験した有力選手2名が新たにチームに加わりました。初年度から、チームの即戦力として駅伝での活躍が期待されます。

また2015年シーズンに現役を引退した平山竜成選手が陸上部に復帰し、長距離コーチに就任しました。平山コーチの選手育成手腕にも期待が膨らみます。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、予定していた試合も相次いで中止となり、試合に出場できるめどが立たない状況下において選手のモチベーション維持が難しい状況となっております。しかし、スタッフ含めこの現状を前向きに捉え、今やるべきこと、今しかできないことと日々向き合い、練習を積み重ねることで成果につなげていきたいと思っています。

今年度も、選手、スタッフ一丸となり努力・精進してまいりますので、引き続き皆様のご声援をよろしくお願いいたします。



写真左上から 北島寿典選手、野村峻哉選手、中本健太郎選手(主将)、高橋尚弥選手(副主将)、山口晟弥選手、加藤風磨選手、古賀淳紫選手、林慎吾選手、中川翔太選手(新入部員)、山瀬大成選手(新入部員)、大畑和真選手、谷川貴俊選手
※大瀬戸一馬選手、ダディトゥルメル選手の2名は撮影日に予定が合わず、写真不在となっております。

山瀬大成 選手(東京国際大学卒)

今シーズンの目標は自己ベスト更新。チームに貢献できるよう頑張ります。



中川翔太 選手(日本体育大学卒)

1年目からしっかりと活躍できるように頑張りますので、応援よろしくお願いいたします。

YASKAWA

トータルコスト削減と リスク低減の鍵を握る DC1500V級パワーコンディショナ

安川電機の新パワーコンディショナ XGI 1500 は、
先進的な連系サポート機能およびクラス最大出力の特長を有し、
さまざまなサイト環境に応じて分散配置または集合分散配置の
どちらのシステム設計においても威力を発揮します！

特高・高圧発電所向け(三相)
太陽光発電用パワーコンディショナ

XGI 1500

150kW 1500VDC

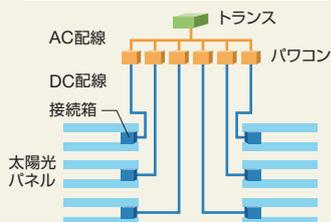


ランニングコスト削減へ

高効率な1500V入力

高電圧化によりパネル直列数を増やし、
配線や接続箱の軽減に貢献します。
システム効率を向上でき、
トータルコスト削減が可能です。

集合分散設置+外部接続箱の設計を推奨



部品数の少ない設計

LCDレス、電解コンデンサレス、
ヒューズレスのシンプル設計により、
O&M*の費用と故障リスクを
低減できます。

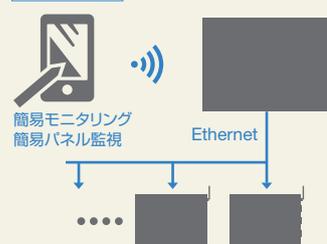
LED採用



スマホで簡単操作

お持ちのスマホでパソコンの一括設定変更、
簡易モニタリングなどが可能です。
O&M*の効率化に貢献します。

一括設定



* : Operation and maintenance : 運転及び保守

株式会社 安川電機

環境・社会システム事業部 TEL 0930-23-5079 FAX 0930-23-5249
【オフィシャルサイト】 www.yaskawa.co.jp 【製品・技術情報サイト】 www.e-mechatronics.com

YASKAWA NEWS

No.331

発行日：2020年8月31日
発行所：株式会社 安川電機

〒105-6891 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー8階 TEL: 03-5402-4665
編集責任者：営業本部 事業企画部 永津浩之 制作：安川オピアス株式会社

次号 2020年11月 発行予定 既刊号はオフィシャルサイトで公開中

